

## 第4回沼津市議会定例会

### 一般質問（個人質問）

\* 一般質問は、「一括質問一括答弁方式」、「一問一答方式（一問一答及び複合）」により実施します。

- ・「一括質問一括答弁方式」：通告した全ての質問を1回目に行い、答弁に対する再質問として2回目及び3回目の質問を行う。
- ・「一問一答」：通告に沿って1回目から、全て一問一答により質問を行う。
- ・「複合」：1回目は一括質問一括答弁方式で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う。

令和6年2月29日、3月1日

令和6年2月29日（木）午前10時から			
順番	氏名	要旨（個人質問）	答弁を 求める者
1	9番 小泉宣子  *一括方式	1 本市を安全・安心なまちにするための防災・減災対策について (1) 災害時における情報伝達手段となる沼津市公式防災アプリ ① これまでの普及に対する取組と課題 ② 普及に向けた今後の取組 (2) 地域の防災体制の強化 ① 地区防災計画の作成について ア 作成の進捗状況 イ 作成を促進するための住民に寄り添った伴走支援に対する認識 ② 各指定避難所の運営体制について ア 避難所運営マニュアルの作成状況 イ 避難所運営マニュアルを踏まえた防災訓練のさらなる充実に対する認識 (3) 災害備蓄品について ① これまでの取組 ② 液体ミルク等を備蓄することへの認識 2 労働人材の確保について (1) 本市のU・I・Jターン推進の取組について ① 沼津しごと応援事業の取組と実績 ② 奨学金返還支援制度の概要とこれまでの実績 ③ 奨学金返還支援制度の課題 3 芸術文化の振興について (1) 沼津市芸術祭の評価に対する認識 (2) 子ども版沼津市芸術祭開催に対する認識	市長 教育長 関係部長

順番	氏名	要旨（個人質問）	答弁を 求める者
2	7番 浅田 美重子  *一括方式	1 障がい者の自立支援の取組について (1) 本市の相談支援体制の現状と取組 (2) 権利擁護の現状と取組 (3) 生活基盤の確保 (4) 福祉サービスの現状 (5) 福祉的就労支援の現状と取組 (6) 一般就労の現状と取組 ① 市役所における雇用の現状と取組 ② 市内事業所における雇用の促進 2 避難所で女性が直面する課題について (1) 衛生用品の備蓄状況 (2) プライバシーや安全確保への対策 (3) 女性の避難所運営への参画の現状	市長 関係部長
3	23番 渡部 一二実  *一括方式	1 視覚障がい者に優しいまちづくりについて (1) 視覚障がい者の視覚に関する認識 (2) その後のコード化点字ブロックの進捗状況 (3) 今後設置される屋外・屋内の点字ブロックの仕様標準化と条例制定の必要性 2 改正動物愛護管理法に準拠したまちづくりと高齢飼養者への対応について (1) 本市におけるペット（犬・猫等）の殺処分ゼロに向けた譲渡会等の状況と殺処分の実態に対する認識 (2) ペット（犬・猫等）の長寿命化（高齢化）に対する認識 (3) 高齢飼養者の一助となり得る老犬ハウス・老猫ハウス等の実態に対する認識 (4) ペットロスや高齢ペットの先行き不安から解放される可能性の高いペット相続士活用の考え	市長 関係部長
令和6年2月29日（木）午後から			
4	16番 小澤 隆  *一括方式	1 本市の電子申請について (1) 現在の電子申請の状況 (2) Eメールなどで受け付けた申請データの管理 (3) 電子化のメリットに対する認識 (4) さらなる電子申請拡大に向けた全庁的な意識づけ 2 令和6年能登半島地震の教訓を生かした災害対策について (1) 災害派遣の観点での本市の地理条件等の把握や研究 (2) 自衛隊等の装備の把握や研究	市長 関係部長

順番	氏名	要旨（個人質問）	答弁を 求める者
5	18番 山下 富美子  *複合方式	1 隣接校選択制度について (1) 実態 (2) 制度廃止の目的と進捗状況 (3) 廃止による影響 (4) コミュニティ・スクールとの関係 (5) 今後の取組 2 「学校の未来を考える会」について (1) 設置までの経緯 (2) 目的と取組 (3) 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に 関する手引との関係 (4) 地域要望への回答と取組 (5) 第一・第二中学校区の統合について ① これまでの経緯 ② 災害リスクの認識	市長 教育長 関係部長
6	2番 高橋 秀子  *一括方式	1 被災者支援について (1) 福祉避難所について ① 現在の状況と課題 ② 福祉避難所に対するサポート ③ 被災時の受援体制・受援計画の策定 (2) 避難所外避難者に対する支援について ① 認識と取扱い ② 把握の仕方と支援方法 (3) 遺体安置所について ① 現在の状況と課題 ② 遺骨安置	市長 関係部長